

社会と歩む卓越～北海道大学

Accessible Excellence



PEAKS全体会合

2022年12月23日

北海道大学総長 寶金 清博



社会と歩む卓越～北海道大学

1, **新ビジョン策定** (何故、必要か、どんなビジョンであるべきか?)

2, **ビジョン実現に向けた戦略的経営は?**

10兆円ファンド・総合振興パッケージ・大学合併の急速な進展



大学間の競争激化・大学としての危機感とアイデンティティの再確認の必要性

大学の市場原理の中で北大の価値創造プロセスをどう構築するか

市場原理：**市場の中での差異、差別化が必要、その明確な提示が必要**

- 1) 国内最大規模の学部数を有し、多様な科学領域を網羅する総合大学
- 2) 世界の課題、日本の課題を典型的に抱える課題先進地にある大学

新しいビジョン策定へ

卓越した研究 (Excellence) から、社会的インパクトを創出する (Accessibility) 大学へ

北海道大学の強み・特色

1) 多様な学術領域(国内最大規模の学部数) 総合知の基盤を持っている
12学部 21大学院



2) SDGs, Sustainability Native University

THEインパクトランキング2022 (SDGsの枠組みでの社会貢献度)
総合ランキング 10位(国内1位)/1406大学



北海道大学 研究林
(世界最大規模の研究林。
総面積約7万ha、国土の
約0.2%相当)



3) 課題先進地域・北海道



人口減少
一極集中と過疎
少子化

Excellence と Accessibilityへ (卓越性と地域貢献)

世界最先端研究・基礎研究

地域課題解決型研究・活動・地域貢献

Excellence

Accessibility

WPI (ICReDD)

ワクチン開発拠点(シナジー拠点)

Gi-CORE・研究所

Grand Challenge

WPI 2.0 / WPI Core

北海道 Prime Bio Community

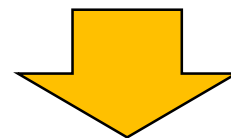
COI-NEXT (少子化課題)

COI-NEXT (育成型・エネルギー課題)

地方大学・地域産業創生交付金(水産業創成・函館)

社会・地域創発本部 (S-RED)

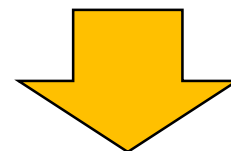
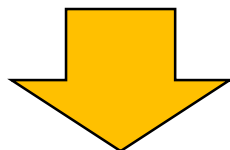
起業・地域スタートアップ



世界最先端研究

衝突

地域課題解決



Top10%論文、論文総数

研究評価は低い

研究力は必ずしも社会的実装・社会的インパクトに直結しない

社会的インパクトは高い

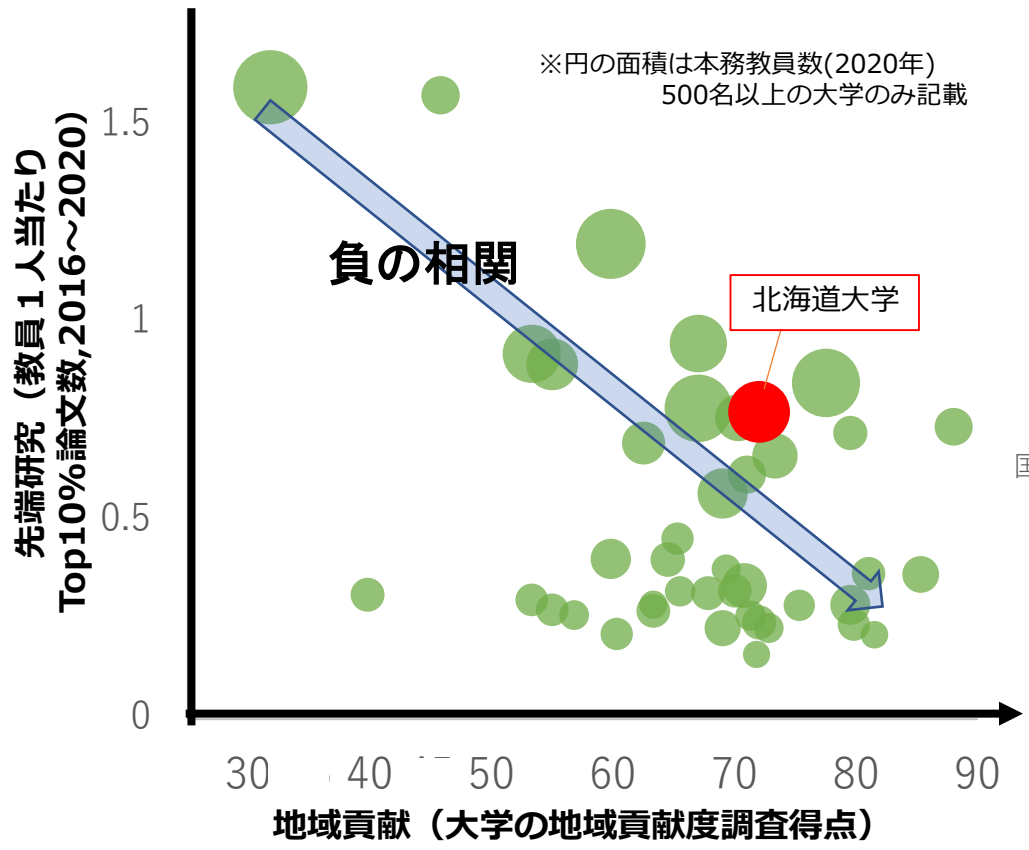
10兆円ファンド・国際卓越研究大学

総合振興パッケージ・特色ある地域中核大学

ExcellenceとAccessibilityの関係

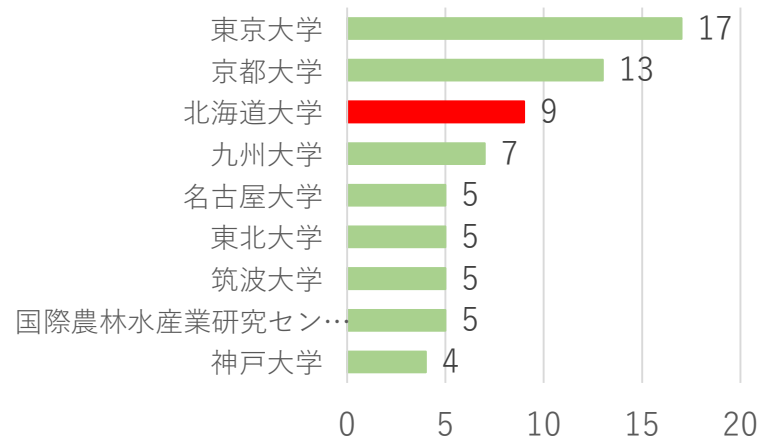
Excellence

国立大学の先端研究/地域貢献
ポジショニングマップ（試行）



Accessibility

JICA/JST 地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム (SATREPS) 採択数 (2008~2022)



北海道大学は、

- ✓ 世界最先端研究
- ✓ 地球規模課題解決
- ✓ 地域課題解決

のポテンシャルを併せ持つ、

- ✓ 国内有数の規模の研究大学 (総論文数国内7位)

という立ち位置にある

※教員1人当たりTop10%論文数
データベース：Elsevier社 Scopus、対象論文：原著論文、総説

※大学の地域貢献度調査得点
出典：日本経済新聞社『日経グローバル』大学の地域貢献度調査2021 (2021.10.4, No.421)
より総合得点を引用

Excellence of Hokkaido University

WPI ICReDD

成 ▶ 研究者数 75 外国籍研究者 33 (44%) 女性研究者 11 (15%)



OTO, H. Japan
S. Japan
S. Japan
EN, C. M. Canada

Vice Director

Admin. Director

Exec. Director

有機触媒 TO

L-Proline

VARNEK

Co-PI SIDOROV

ベンジャミン・リスト
独マックス・プランク石炭研究所 所長
北海道大学・ICReDD 特任教授

ウイルス感染症シナジー拠点

医学・薬学・獣医学が連携したCOVID-19と今後蔓延が予想される新型ウイルス即応を可能とする分野

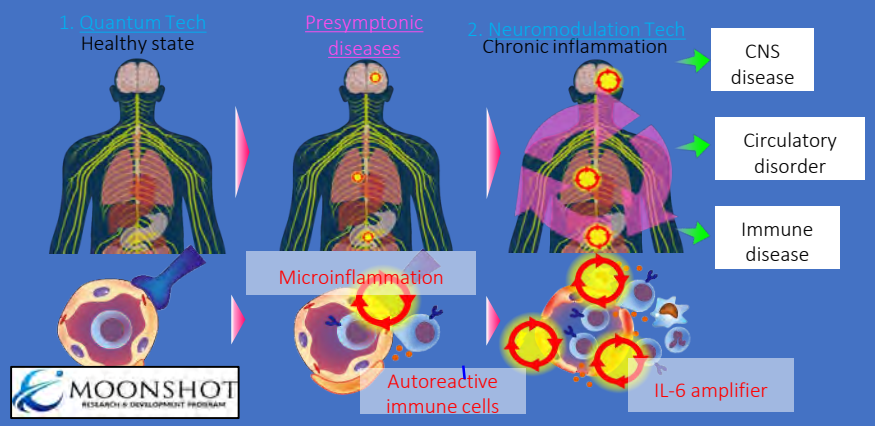


スマート農・工・水産業 (SIP)

農学・工学・水産科学・情報科学が連携した無人自動トラクターや作物収穫機械の自動化、フードロス削減、DXを活用した水産陸上養殖に代表される分野



微小炎症・ニューロモデュレーション (Moonshot)



Accessibility of Hokkaido University

10年で少子化に挑む(岩見沢)

地域共創の場 (本格型)
「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」
 Vision
 「他者(ひと)とともに、自分らしく幸せに生きる社会」の実現
 ～こころとカラダの理解を通して、生きるための選択肢を増やす～



3 持続的 経済 3.0
 4 社会 4.0
 5 性別 5.0
 11 都市 11.0

地域のエコ・エネルギーシステム(釧路)



10年で函館の水産業を再興する(函館)

水産業と共創する

【魚介藻類養殖を核とした
 持続可能な水産・海洋都市の構築】
 ～地域カーボンニュートラル*に貢献する
 水産養殖の確立にむけて～

地域カーボンニュートラル* 都道府県単位でのカーボンニュートラル実現により、日本の2050年ゼロカーボンの目標達成に貢献するもの

令和3年度地方大学・地域産業創生交付金 説明資料
 (計画作成支援枠)

【函館市】



8 8.0
 9 9.0
 11 11.0
 12 12.0
 13 13.0
 14 14.0

ワイン・フードカルチャーを創成する(余市)

北海道サステイナブル・テロワール共創拠点
 風土に根ざした心豊かな暮らしを地域で創造する



Bio Community 北海道 余市町 食産業 食産業化設計 北海道大学

ワイン(ワイナリー&ヴィンヤード)

地域の気候風土がつくる農産物で、生産・加工・販売まで地域内で展開する6次産品	北海道の“食と自然”を支える食産業および観光産業等への波及効果が期待される	地域と都市の流動性を高める農産物で、今後予測される気候変動でも持続可能な産業
--	---------------------------------------	--

